

AIR SUS

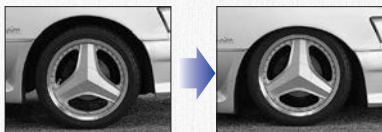
EXCELLENT CONTROLLER

エアサス / アクティブサスコントローラー

新保安基準適合 MODE 搭載

実用新案登録済

意匠登録済



SUPER LOW DOWN!!

取扱説明書

ASE664

ADVANCING ELECTRIC TECHNOLOGY WILL NEVER SET A LIMIT ON OUR DREAM.
DataSystem MAKES YOUR DREAM COME TRUE.
WE PRODUCE THE HIGHEST QUALITY OUT OF THE ADVANCED ELECTRIC TECHNOLOGY.

- ◆初の液晶ディスプレイを搭載◆
- ◆ブルー EL バックライト採用◆

MEMORY NUMBER INDICATOR

MICROCOMPUTER



コントロール
Dynamic

HEIGHT MONITOR
INDICATOR

SPEED CONTROL
INDICATOR

SPEED INDICATOR

LCD DISPLAY

ZERO

驚異のエア・0 状態! スーパー LOW モード搭載!!

独自の制御器・スーパー LOW モード搭載により、これ以上は下がらない、ノー・エア状態まで車高ダウンを実現可能!!

Excellent AS

LCD & EL ADVANCED TECHNOLOGY

お買い上げありがとうございます。



はじめに必ずお読みください!!

車種に合わせてディップスイッチ設定を必ずおこなってください。(P6参照)

初めてIGキーをONにすると、新保安基準適合モード/スペシャルモードの設定モードに入ります。

できるだけ車高を下げたい場合は

公道でご使用になる場合は

スペシャルモードを設定してください。

新保安基準適合モードを設定してください。

詳しくはP7「新保安基準適合モードについて」をお読みください。

目次

はじめに必ずお読みください!!	P1
本製品の機能および特長	P2
注意事項の定義&ご使用上の注意	P3
各部の名称と機能	P4
ご使用になる前に必ずお読みください!!	P5
ディップスイッチ設定方法	P6
新保安基準適合モードについて	P7
基本的な操作方法	P8
操作説明 [1] 車高設定表示モード(車高設定方法)	P9~P10
操作説明 [2] スーパーLOWモード設定方法	P11
操作説明 [3] ハイトモニター表示モード	P12
操作説明 [4] スピードメーター表示モード(車速感応ハイトコントロール設定方法)	P13
故障かな?と思ったら/アフターサービスについて/メーカー保証について	P14

パーツリスト

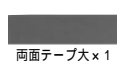
不足のパーツがないかご確認ください。



ASE664本体



取扱説明書



両面テープ大 x 1



ネジ x 2



取付説明書



ユーザー保証登録カード&保証書



ステアを本体に取り付ける場合、必ず本体背面からスライドさせ、本体側面の中心にロックさせてください。尚、スライドさせる場合に本体が傷つく恐れがありますので十分注意してください。

本製品の機能および特長

1つの本体で全てのエアサス/アクティブサス車に対応

地道な実車テストから得られた全エアサス車/アクティブサス車の細かな制御データ全てをマイコン内蔵メモリーに蓄積、車種設定用ディップスイッチにより車種ごとに異なる制御方法を選定し、完璧な車高制御をおこないます。

前後独立16(8)段階設定

車高センサーから送られてくる車高データを高性能マイコンが高速変換することにより、車高を前後独立でダウン9段階・ノーマル1段階・アップ6段階の計16段階+スーパーLOW(アクティブサス車はダウン5段階・ノーマル1段階・アップ2段階の計8段階+スーパーLOW)に設定できます。(P9~P11)

左右バランス調整も可能

前輪の左右の車高を独立で設定できますので、左右バランスを調整することが可能です。(P9~P10)

トリプルハイトメモリー機能搭載

予め3通りの車高を設定、記憶しておくことにより、ノーマルを含め4通りの車高をワンタッチで切り替えることができます。(P9へ)

スーパーLOWモード搭載により大幅な車高調整幅を実現

スーパーLOWモード搭載により、エアサス車は+40~-95mm、アクティブサス車は+10~-50mmの大幅な車高調整幅を実現しました。(P11へ)

車速感応ハイトコントロール機能搭載

予め設定した2通りの車高を車速に応じて切り替える車速感応ハイトコントロール機能を搭載しています。(P13へ)

デジタルスピードメーター機能搭載

0~300km/hまで表示可能なデジタルスピードメーターを搭載しています。(P13へ)

デュアルモードハイトモニター搭載

数字表示とセグメント表示の2パターンのハイトモニターを搭載していますので、車高の高さを車内に居ながら確認することが可能です。(P12へ)

新保安基準適合モード搭載

安全性を考慮した新保安基準適合モードを搭載。簡単にON/OFFできますので友人に愛車を貸し出す場合にも安心です。(P7へ)

マイコン制御ならではの各種安全機能搭載

車高の下がりすぎ、上がりすぎ時に起こるLOWロック、HIGHロックを完全回避。大幅な車高設定の変更にも追従するAll機能を搭載。高速走行時、自動的に車高が下がる純正機能をカットし、高速走行時の下がりすぎを防止するASC機能を搭載。車高設定変更後、速やかに車高変化が始まるクイックレスボンス機能を搭載。

ワンタッチリモコンにより、手で車高メモリーの切り替えが可能(別売)

別売のワンタッチリモコンにより4通りの車高の切り替えが手で簡単におこなえます。

別売の変換ハーネスにより、ASG61X/62X/63X・AST59XⅢ用ハーネス(H-06X)に接続可能

ASG61X/62X/63X・AST59XⅢ用ハーネス(H-06X)をお持ちの場合、別売の変換ハーネス(H-070-073)を使用することによりASE664本体が取り付け可能です。(詳しい適合表は裏表紙へ)

注意事項の定義 & ご使用上の注意(必ずお読みください)



危険

守らないと身体や財産に重大な被害が発生する可能性が高いものを示します。

新保安基準以下の車高(特にスーパーLOW設定状態)での走行は絶対にしないでください。新保安基準以下の車高(特にスーパーLOW設定後に走行する場合、必ず車高設定を'5'以上に上げ、車高が上がってきたことを確認するまで絶対に走行しないでください。

本製品の操作を、運転者が運転中おこなうことは大変危険ですので絶対にしないでください。



警告

守らないと法律に違反する恐れがあるものを示します。

車高を下げた状態で公道を走行すると違法となる場合があります。



注意

守らないと車及び製品を破損、または故障させる恐れがあるものを示します。

本製品を使用中、またはGキーOFF後3分間は本体および専用ハーネス、ワンタッチリモコン(別売装着時)を外さないでください。外すと本製品および純正エアサス/アクティブサスコンピューター故障の原因となります。

車高センサーのロッドを調整し、故意に車高を変化させている車両には本製品は対応しません。必ずディーラー等でロッドを基準値に戻し、ノーマル車高に戻してから使用してください。

車高を下げた状態で走行すると、サスペンションに負担がかかりサスペンションの寿命が縮まります。

車高を下げた状態で段差、急な坂道、わだち等を走行しないでください。スポイラーや車体腹部が地面に接触して破損する恐れがあります。

本製品はノーマル車両をベースに設計されています。純正または純正と同サイズのタイヤ・ホイール以外のインチアップホイール、ワイドタイヤ装着車、またはスパーサーによるワイドトレッド化された車両には絶対に使用しないでください。タイヤと車体の接触による車両の破損、損傷または事故の恐れがあります。



重要

本製品を使用する上で知っておいていただきたいことを示します。

アクティブサス車の場合、サスペンションの特性上車高を下げた状態でGキーをOFFにすると車高がノーマルに戻ります。

本製品を使用して(特に車高を下げたことにより)発生した事故、違法行為、車両の故障または破損等の責任は一切負いません。

Y33シーマの下がり幅は、約2cmです。

各部の名称と機能

液晶ディスプレイ

車高設定値、ハイトモニター、スピードメーター等を7セグメント表示します。

メモリーナンバーインジケーター

選択中のメモリーナンバーを右の矢印で示します。全て消灯している場合は車高がノーマル設定となり、液晶ディスプレイに'-no-'と表示します。

MODEスイッチ

押すごとに車高設定値表示モード ハイトモニター表示モード スピードメーター表示モードの順にモードが切り替わります。(押すとビッと音がします)

SETスイッチ

車高設定変更時や各種表示の切り替え時に使用します。(押すとビッと音がします)

ワンタッチリモコン(別売)

メモリーナンバー(H1 H2 H3 ノーマル)の切り替えが手元で簡単におこなえます。(取り付けは、本体背面のミニジャックに差し込んでください。)



ハイトモニターインジケーター

ハイトモニター表示モード選択中(ハイトモニター表示中)に点灯します。

UPスイッチ

車高UP設定及びメモリー車高切り替え時に使用します。(押すとビッと音がします)

スピードコントロールインジケーター

車速感応ハイトコントロール機能ON時に左の矢印が点灯します。

DOWNスイッチ

車高DOWN設定及びメモリー車高切り替え時に使用します。(押すとビッと音がします)

スピード表示インジケーター

スピードメーター表示モード選択中に左の矢印が点灯します。

前輪左 前輪右 後輪

車高設定値表示モード時は車高設定値を、ハイトモニター表示モード時は車高センサー信号を、各輪独立で表示します

後輪左と後輪右は1つの車高センサーで同時に制御している為、車高設定は左右共通となります。その為、後輪の左右バランスは調整できません。



スペシャルモード時は、常時右下点が点灯



スペシャルモード時の車高設定値表示モード時は、下バーが点灯

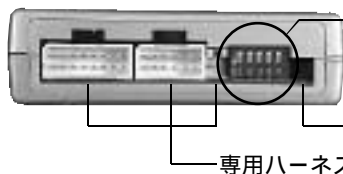


新保安基準適合モード時の車高設定値表示モード時は、上バーが点灯

ご使用になる前に必ずお読みください!!

ご使用になる前に必ずディップスイッチ設定をおこなってください。👉P6

取り付ける車種に合わせてディップスイッチ設定を必ずおこなってください。本製品は車種ごとに異なる車高制御データ(アナログ信号・デジタル信号等)をディップスイッチで切り替えるようになっていますので、設定を正確におこなわないと正常に作動しません。(詳しくはP6を参照してください)



本体裏側のディップスイッチ

必ず車種に合ったディップスイッチ設定をおこなってください。

(別売)ワンタッチリモコン接続用コネクタ 📍P4

専用ハーネス(H-07XまたはH-06X+変換ハーネス)接続用コネクタ

初めて電源をONしたら「新保安基準適合モード」、「スペシャルモード」選択してください。👉P7

本製品は、取り付け後初めて電源をONしたときに「新保安基準適合モード」と「スペシャルモード」のどちらかを選択するようになっていますので、ご使用に合った設定をおこなってください。(詳しくはP7を参照してください)

新保安基準適合モード表示



保安基準内でしか車高が下がりません。('STd'はスタンダードの意味です)

スペシャルモード表示



最大で、サスストロークの限界まで車高が下がります。

初めて
IGキーをON

SETスイッチ

UPスイッチ

UPスイッチ
で切り替え

SETスイッチを
押して設定終了

ディップスイッチ設定方法

ご使用になる前に必ずディップスイッチ設定をおこなってください!!

取り付けた車種に合わせてディップスイッチ設定を必ずおこなってください。本製品は車種ごとに異なる車高制御データ(アナログ信号・デジタル信号等)をディップスイッチで切り替えるようになっていきますので、設定を正確におこなわないと正常に作動しません。(設定は、必ず本製品に電源が入っていない状態でおこなってください。)

車種：セドリック・グロリア

型式：Y32

年式：H3.6～H7.5

ディップスイッチ設定

設定車種表示



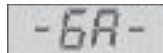
車種：マジェスタ/ソアラ

型式：UZS141・JZS149・UZS151/UZZ31

年式：H3.10～H7.8・H7.9～H11.9/H3.5～H9.8

ディップスイッチ設定

設定車種表示



車種：マジェスタ4WD/アリスト4WD

型式：UZS143・UZS155/UZS143

年式：H4.10～H7.8・H7.9～H11.9/H4.10～H9.8

ディップスイッチ設定

設定車種表示



車種：セルシオ

型式：UCF21

年式：H6.10～H12.8

ディップスイッチ設定

設定車種表示



車種：セドリック・グロリア

型式：Y31

年式：S62.6～H3.6

ディップスイッチ設定

車種：シーマ

型式：FY31

年式：S63.1～H3.8

設定車種表示



車種：クラウン

型式：UZS131・MS137

年式：S62.9～H3.10

ディップスイッチ設定

車種：ソアラ

型式：MZ21

年式：S61.1～H3.5

設定車種表示



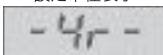
車種：クラウンロイヤルハードトップ/セダン

型式：JZS145/JZS135

年式：H3.10～H7.8/H3.10～H7.11

ディップスイッチ設定

設定車種表示



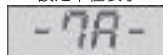
車種：セルシオマイナー前/マイナー後

型式：UCF11/UCF11

年式：H1.10～H4.8/H4.9～H6.9

ディップスイッチ設定

設定車種表示



シーマ(FGDY32)H3.8～H8.5/(FGDY33)H8.6～H12.12

インフィニティQ45(HG50)H1.10～H9.9

プレジデント(JHG50)H2.10～H14.8

プレジデントJS(PHG50)H4.2～H14.8

ディップスイッチ設定

設定車種表示



設定車種表示・・・

IGキーON時に2秒間表示する車種適合確認用表示です。これにより、ディップスイッチが正確に設定されているどうかを確認することができます。尚、上記にないディップスイッチ設定をおこなった場合、ディスプレイに`Err`と表示しブザーが鳴りっぱなしになります。

新保安基準適合モードについて

本製品は取り付け後、初めて電源ON(IGキーONまたはエンジン始動)したときに「新保安基準適合モード」と「スペシャルモード」のどちらかを選択するようになっていきますので、以下の説明をお読みになってから「モード設定方法」を参照の上設定してください。

	エアサス車			アクティブサス車		
	車高設定段階	スーパーLOW設定	走行中の操作	車高設定段階	スーパーLOW設定	走行中の操作
スペシャルモード	16段階			8段階		
新保安基準適合モード	8段階	×	×	8段階	×	×

スペシャルモード・・・最大でサストロークの限界まで車高が下がります。

新保安基準適合モード・・・保安基準内でしか車高が下がりません。

新保安基準適合とは 停車状態で最低地上高9cm以上を保ち、かつ走行中に車高を任意に設定できない構造である事を示します。

モード設定方法(取り付け後初めて電源をONした場合)

設定した内容はIGキー-OFF後も記憶されます。

1 取り付け後、初めてIGキーON(またはエンジン始動)すると右写真の「新保安基準適合モード」表示をします。(「STd」は点滅)

SETスイッチ



UPスイッチ

DOWNスイッチ

2 UPスイッチかDOWNスイッチを一度押すごとに右のように「新保安基準適合モード」表示(STd:左写真)と「スペシャルモード」表示(SPL:右写真)に変わります。



UPスイッチ
DOWNスイッチ



3 設定したいモードの表示を選んでSETスイッチを押すとそのモードが設定され、車高設定値表示モードに入りモード設定終了です。(右写真は「スペシャルモード」に設定した場合の表示)



2秒後



モードを一度設定した後にモード変更をする場合、**本体に電源が入っている状態で**MODEスイッチを押しながらSETスイッチを6秒以上押し続けてください。上記1の状態(初めて電源をONにした状態)になります。尚、この操作をおこなった場合、全てのメモリー内容(車高設定値、車速感応ハイトコントロール設定等)が消去されます。

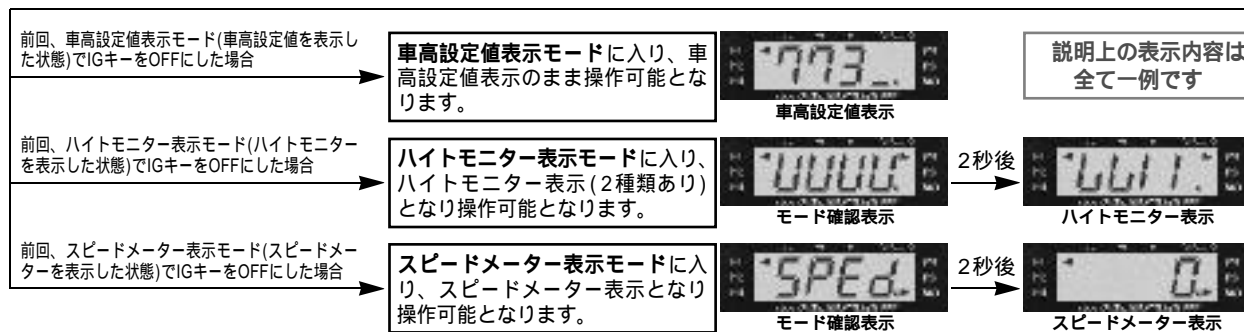
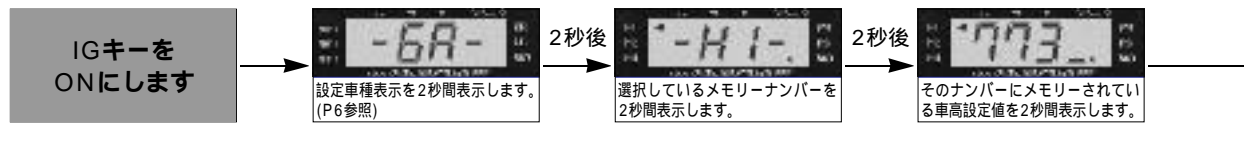
MODEスイッチ

SETスイッチ



基本的な操作方法

ASE664の電源はIGキーに連動してON/OFFします(電源OFF時に例外あり P14参照)。
電源をONにしてから操作可能になるまで、以下のような表示をおこないます。(初めて電源をONにした場合のみスペシャルモード/新保安基準適合モードのどちらかを選択するようになっていきますので、P7を参照してください。)



ASE664には**車高設定値表示モード**・**ハイトモニター表示モード**・**スピードメーター表示モード**の3つの表示モードがあります

MODEスイッチ



表示モードの切り替えはMODEスイッチでおこないます。MODEスイッチを押すごとに**車高設定値表示モード** **ハイトモニター表示モード** **スピードメーター表示モード**の順に表示モードが切り替わります。

車高設定値表示モード P9へ
車高を設定するモードです

ハイトモニター表示モード P12へ
ハイトモニターを表示するモードです

スピードメーター表示モード P13へ
スピードメーターを表示するモードです

ご使用になる前にご確認ください!!

ディップスイッチ設定をおこないませんか。(ディップスイッチ設定をおこなわないと正常に作動しません。詳しくはP6をお読みください。)

以下の説明は「スペシャルモード」の場合です。「新保安基準適合モード」の場合は最大`5´までしか下がりません。

以下、各スイッチを右のような
マークで表現します



1 MODEスイッチ I を押して車高設定値表示モードを選択します

車高設定値表示モードを選択すると、選択しているメモリーナンバーを2秒間表示後、そのメモリーナンバーに記憶された車高設定値を表示します。

メモリーナンバー表示(H1orH2orH3)



2秒後

(ここではH1の)車高設定値表示



フロント左の車高設定値

フロント右の車高設定値

リアの車高設定値

スペシャルモード/新保安基準適合モード表示



スペシャルモードを設定している場合、右下の点
が常時点灯し、また車高
設定値表示時に下のパー
が点灯します。



新保安基準適合モードを
設定している場合、車高
設定値表示時に上のパー
が点灯します。

2 UPスイッチ ▲ またはDOWNスイッチ ▼ を押して設定したいメモリーナンバーを選択します

選択したメモリーナンバーを2秒間表示後、そのメモリーナンバーに記憶された車高設定値を表示します。

選択したメモリーナンバーは、メモリーナンバーインジケーターで確認できます。



メモリーナンバーインジケーター

メモリーナンバーインジケーターが全て消灯した状態を選択すると、下の表示になりノーマル車高になります。



予めメモリーナンバーH1・H2・H3それぞれに車高設定値をメモリーしておくことができます。(トリプルハイトメモリー機能)

選択したメモリーナンバーの車高設定値表示中にSETスイッチを押すと、フロント左の車高設定値が点滅し車高設定モードに入りますので、以下の手順で設定します。左右バランス調整はフロント左右の車高設定を独立させることで可能になっております。



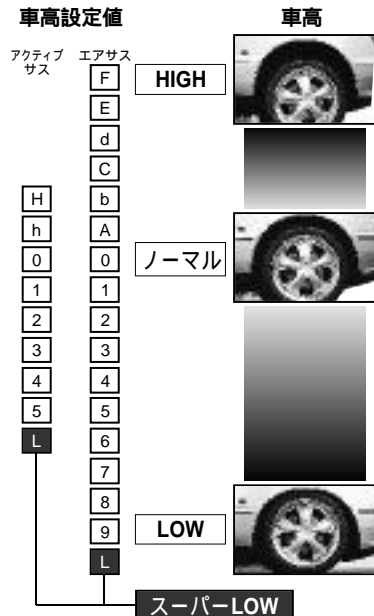
3 SETスイッチ **||** を押すと車高設定モードに入り **が点滅します**
UPスイッチ **▲** 及びDOWNスイッチ **▼** で設定します

4 SETスイッチ **||** を押すと **が点滅します**
UPスイッチ **▲** 及びDOWNスイッチ **▼** で設定します

5 SETスイッチ **||** を押すと **が点滅します**
UPスイッチ **▲** 及びDOWNスイッチ **▼** で設定します

6 SETスイッチ **||** を押すと車高設定モードが終了し、車高設定値表示となります

車高と車高設定値との関係





スーパーLOW
詳しくはP11をお読みください。

設定後の状態はIGキーOFF後も記憶されます。車高設定は水平な場所でおこなってください。
フロント車高の左右バランスを極端に変化させようとしても、フロント左右の車高設定値の差が6段階以上にならないよう自動的に一方の車高設定値が変化します。例えばフロント右の車高設定値が`8`、フロント左が`3`の場合、フロント右を`9`に設定するとフロント左が自動的に`4`となります。
停車時に車高調整をおこなっても車高が変化しない場合、設定後数キロ程度走行してから車高を確認してください。
選択しているメモリーナンバーは、ディスプレイ上のインジケーター(三角型矢印)で確認することができます。
走行状況等に応じてH1・H2・H3・no(ノーマル車高)をUPスイッチ、DOWNスイッチまたはワンタッチリモコン(別売)を押して切り替えてください。尚、メモリーナンバーを切り替える際はどのモードであっても可能です。(その際は、メモリーナンバーを切り替えた後、選択中のモードに戻ります。)
1~2cm程度の左右誤差は、エア(アクティブ)サスペンションの特性上バランスが取れない場合がありますのでご注意ください。

スーパーLOWモードは、車高を車高設定値`9` (アクティブサス車は`5`)よりもさらに1段階下げることによって究極のLOW DOWNを実現します。設定は各メモリーナンバー(H1・H2・H3)ごとにフロント・リア独立で設定できます。(フロントは、左右どちらかをスーパーLOW設定するともう一方が自動的にスーパーLOW設定になります。)

- 1** P9～P10を参照の上、車高設定値を`9` (アクティブサス車は`5`)に設定します

エアサス **9** アクティブサス **5** に設定
 - 2** 車高設定値が点滅している状態で、DOWNスイッチ  を3秒以上押し続けます

 3秒以上
 - 3** アラーム音とともに車高設定値が`9` から`L` (スーパーLOW設定表示)に変わります

9 **L** =スーパーLOW設定表示
- !!** スーパーLOWを解除するには必ずUPスイッチで車高設定値を`5`以上に上げてください。`5`以上に上げないと解除されない恐れがあります。

危険

スーパーLOW設定は、サスストロークの限界まで車高が下がりますのでサスペンションにかなりの負担がかかります。従って、特にスーパーLOWに設定した状態では絶対に走行しないでください。スーパーLOW設定後に走行する場合、必ず車高設定を`5`以上に上げ、車高が上がってきたことを確認するまで絶対に走行しないでください。本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損等の責任は一切負いませんのでご注意ください。(P3の「ご使用上の注意」も合わせてお読みください。)

スーパーLOWに設定した場合、タイヤと車体とが接触する恐れがありますので十分注意してください。(フロントをスーパーLOWに設定する場合、ハンドルをまっすぐにご覧ください。)

重要





スーパーLOW設定はサスストロークの限界まで車高が下がりますので、フロントをスーパーLOWに設定した状態での左右バランスは調整できません。

クラウン(UZS131/MS137)・ソアラ(MZ21)・クラウンロイヤル(JZS145/JZS135)・セルシオ(UCF11)は、走行中はスーパーLOW設定はできません。また、スーパーLOWに設定した状態で走行すると自動的にスーパーLOWモードが解除され、車高設定値が`9`になります。

ハイトモニターは、ディスプレイの表示で車高の高さを確認できる機能です。表示をお好みで2パターン選択することができるデュアルモードハイトモニターを搭載しています。

1 MODEスイッチ I を押してハイトモニター表示モードを選択します

ハイトモニター表示モードを選択すると、ディスプレイに前回選択したパターンのモード確認表示を2秒間表示後、ハイトモニター表示になります。

<p>パターン1 デジタル表示</p>	<p>モード確認表示</p>  <p>2秒後</p>	<p>ハイトモニターデジタル表示</p> 	<p>フロント左の車高の高さ表示 フロント右の車高の高さ表示 リアの車高の高さ表示</p>
<p>パターン2 セグメント表示</p>	<p>モード確認表示</p>  <p>2秒後</p>	<p>ハイトモニターセグメント表示</p> 	<p>後輪左と後輪右は1つの車高センサーで同時に制御している為、ハイトモニター表示は左右共通となります。</p>

パターン1とパターン2は、SETスイッチ II で切り替えることができます

デジタル表示の説明




スペシャルモードを設定している場合、写真上の白い ← で示した・(点)が常時点灯しています。

フロント左・フロント右・リア独立で、車高センサーから送られてくる信号を7段階のデジタル数字(ノーマルより高いと`H`)で表示します。(車高設定値表示ではありませんので、お間違えにならないようご注意ください。)

高い ノーマル 低い

セグメント表示の説明



スペシャルモードを設定している場合、写真上の白い ← で示した・(点)が常時点灯しています。

フロント左・フロント右・リア独立で、車高センサーから送られてくる信号を5段階でセグメント表示します。

ノーマル以上 低い

ハイトモニターは車高センサーから送られてくる信号を常に表示していますので、車高設定を変えなくても走行中の車体の上下動によって変化します。

操作説明 [4] スピードメーター表示モード(車速感応ハイトコントロール設定方法)

1 MODEスイッチ I を押してスピード表示モードを選択します

スピード表示モードを選択するとスピード表示インジケータが点灯し、モード確認表示を2秒間表示後、スピードメーターを表示します。



モード確認表示

2秒後



スピードメーター表示

スピード表示インジケータ

スピードメーターは最高300km/hまで表示可能です

スペシャルモードを設定している場合、左写真上の白い点で示した・(点)が常時点灯しています。

車速感応ハイトコントロール設定方法

上記参照の上、スピードメーターを表示させます。



予め設定した車速(0~150km/h)になるとメモリー車高が自動的にH1からH2に切り替わり、設定した車速マイナス10km/hになるとH2からH1に戻る機能です。(但し、設定した車速以下のときにH1車高を選択し、かつこの機能をONに設定している場合のみ作動します)

スピードメーター表示中にSETスイッチを押すと、`C-SP`と2秒間表示し、車速設定表示(点滅)になります。



2秒間表示



車速設定表示

UPスイッチ及びDOWNスイッチで車速を設定します。(設定範囲は0~150km/h、10km/h刻みとなります。)



速度設定後、SETスイッチを押すとこの機能のON/OFF設定モードに入り、`CSET`と2秒間表示し、ON/OFF表示になります。

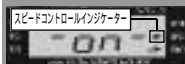


2秒間表示



車速設定表示

UPスイッチまたはDOWNスイッチを押すごとに表示が`-on-` (スピードコントロールインジケータ点灯)と`-oF-` (スピードコントロールインジケータ消灯)を繰り返します。`-on-`は機能ON、`-oF-`は機能OFFを意味します。



機能ON表示



機能OFF表示

ON/OFF設定後、SETスイッチを押すとスピードメーター表示に戻り車速感応ハイトコントロール設定終了です。(下はONに設定した例)



モード確認表示



スピードメーター表示

H1からH2に切り替わる車速を0km/hに設定した場合、停止状態でH1に、走行するとH2に切り替わります。

他のモードであっても車速感応ハイトコントロール機能がON設定かOFF設定かをスピードコントロールインジケータで確認できます。

設定車速以上の速度でメモリー車高がH1からH2に切り替わった後、UPスイッチかDOWNスイッチを押してH1を選択すると、設定車速以上の速度であってもH1に戻ります。

故障かな?と思ったら

製品の調子が悪いとき、故障と判断する前に下記の内容をご確認ください。

症状	確認してください
電源が入らない	IGキーをONにしましたか。(本製品の電源はIGキーに連動します) 専用ハーネスは確実に接続されていますか。
(エアサス車用で)車高設定が`6´以上にならない (アクティブサス車用で)スーパーLOWモードを設定できない	新保安基準適合モードになっています。P7をお読みください。
IGキーをOFFにしても本製品の電源がOFFにならない	UZS143マジェスタ4WD・アリスト4WD/UZS141・JZS149マジェスタ/UZZ31ソアラ/UCF11セルシオの場合、IGキーOFF後約3分間電源が入ったままですが、約3分後自動的に電源OFFとなります。
車高の高さが左右で違う	左右バランスを調整しましたか。 水平な場所で車高を設定しましたか。 ディップスイッチ設定を正確におこないましたか。 左右で1~2cm程度の誤差が生じる場合がありますが、エア(アクティブ)サスペンションの特性上から起こるもので故障ではありません。
設定しても車高が変化しない	スーパーLOW設定後の場合、車高設定値を`5´以上に上げてください。 エア(アクティブ)サスコンピューターが車高制御を中止している可能性があります。バッテリーマイナス端子を1分以上外してください。 1~3段階程度の設定変更の場合、エア(アクティブ)サスペンションの特性上から車高が変化しない場合があります。
走行中に車高が勝手に変化する	車速感応ハイトコントロール機能が設定されていませんか。P13をお読みください。 純正の機能により、車両側エアサスコンピューターが走行状況に応じて自動的に車高を変化させる場合があります。
車高が勝手に変化していることがある	1~2cm程度の車高変化が生じる場合がありますが、エア(アクティブ)サスペンションの特性上から起こるもので故障ではありません。
IGキーをONにすると`Err´と表示し、プザーが鳴りっぱなしになる(IGキーOFFで鳴り止みます)	P6「ディップスイッチ設定方法」に記載されていないディップスイッチ設定をおこなっています。取り付けた車種に合ったディップスイッチ設定をおこなってください。
設定を初めからやり直すには?	P7の下欄を参照の上、操作して下さい。

上記の内容を確認しても症状が直らないときは、当社サービス課までお問い合わせください。

アフターサービスについて

製品に関してのご相談は当社サービス課までお問い合わせください。

製品の調子が悪いとき(上記「故障かな?と思ったら」を参考に一度お調べください。)

製品を破損、損傷してしまった場合

製品の性能、機能に関してのご質問

メーカー保証について

本製品は厳密な品質管理のもとで検査し、合格したものをお届けしています。

取扱説明書に従った正常な使用状態で万が一故障した場合、ご購入日より3年間製品のみ無償修理致します。(詳しい保証規定は保証書をご覧ください。)

但し、ユーザー保証登録カードをご返送いただき、かつ保証書にお買い上げ販売店の印がある場合に限ります。それ以外の場合には有償修理となりますので予めご了承ください。

AIR SUS/ACTIVE SUS EXCELLENT CONTROLLER

LCD & EL ADVANCED TECHNOLOGY ——— ASE664

別売を排した、こだわりの設計思想

●大容量安定化電源回路採用

安定した性能を長期間安定して発揮するため、二重三重にバックアップされた安心の大容量安定化電源回路を採用し、電源ノイズの影響も完全にシャットアウト。発熱も最小に抑さえ、信頼性抜群です。

●万全のバッファ回路

入出力回路に独自のバッファ回路を採用し、外来ノイズの影響を完全に排除し、安定性をさらに高めました。

●安心のEMI対策

ASE本体から出る不要な電波を最大限抑えた安心のEMI対策設計ですから、テレビや携帯電話にも一切の妨害を与えません。

適合表

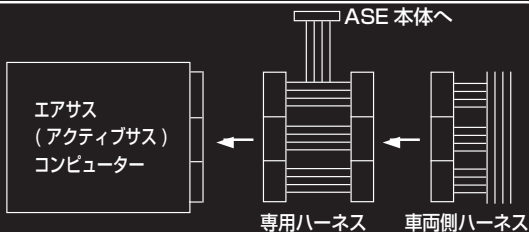
車種	型式	年式	専用ハーネス品番	変換ハーネス品番	車種	型式	年式	専用ハーネス品番	変換ハーネス品番
クラウン	UZS131・MS137	S62.9 ~ H3.10	H-074	H-070	マジエスタ	UZS141・JZS149	H3.10 ~ H7.8	H-076A	H-072
ソアラ	MZ21	S61.1 ~ H3.5			ソアラ	UZS231	H3.5 ~ H9.8		
クラウンロイヤルHT	JZS145	H3.10 ~ H7.8	H-074R	H-070	マジエスタ 4WD	UZS143	H4.10 ~ H7.8	H-076F	H-072
クラウンロイヤルセダン	JZS135	H3.10 ~ H7.11			アリスト 4WD	UZS143	H4.10 ~ H9.8		
セルシオ	UCF11	H1.10 ~ H4.8	H-077A	H-071	セドリック・グロリア	Y31	S62.6 ~ H3.6	H-078	H-073
	UCF11	H4.9 ~ H6.9			シーマ	FY31	S63.1 ~ H3.8		
セドリック・グロリア	Y32	H3.6 ~ H7.5	H-075	H-073	シーマ	FGDY32	H3.8 ~ H8.5	H-079	H-072
マジエスタ	UZS151	H7.9 ~ H11.9			インフィニティ Q45	HG50	H1.10 ~ H9.9		
マジエスタ 4WD	UZS155	H7.9 ~ H11.9	H-076	H-072	プレジデント	JHG50	H2.10 ~ H14.8	H-079	H-072
セルシオ	UCF21	H6.10 ~ H12.8			プレジデント JS	PHG50	H4.2 ~ H14.8		

変換ハーネス：当社製 H-06X ハーネスを使用可能にする別売 (¥2,000) 変換ハーネスです。(詳しくは P2 参照)

基本取付概要図

車両側のエアサス (アクティブサス) コンピューターとハーネスとの間に、専用ハーネス (別売) を割り込ませるだけで簡単に取付けが行えます。

※ 車種により専用ハーネスが異なりますので本書内の適合表を参照の上、品番をご確認ください。



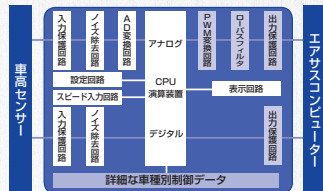
 Data System 株式会社 データシステム

■ [本 社] 東京都新宿区新宿 1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田 1-1-11

ご注意：当社に無断で当取扱説明書の内容、写真、図の全部または一部の複製 (コピー) ・転用・転載を禁じます。

A/D 入力対応高性能マイコン採用

心臓部であるハイトコントロール制御部には、専用に開発された A/D コンバーター内蔵の新型高性能 1 チップマイコンを採用。車高データの出入力部には、不要なノイズをシャットアウトする強力なノイズフィルターと入出力保護回路を採用し、高機能と安定した車高制御を実現しました。さらに ASE664 には、デジタル 4ch/ アナログ 4ch の入出力回路を全て標準装備し、専用ハーネスを交換するだけで、1 つの本体で全適合車種に対応します。また、1 台 1 台地道な実車テストから得られた細かな制御データをマイコン内蔵メモリーに蓄積、車種設定 DIP スイッチにより、車種ごとに異なる最適な制御方法を選定し、完璧な車高制御をおこないます。



ダイナミックハイトコントロール

高性能マイコンによるダイナミックハイトコントロールを実現しているのは *H-SPEC = DataSystem* だけ。センサーからの車高情報を基にマイコンが状況を的確に判断し、最適制御を行います。

